



平成 25 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 黒崎播磨株式会社

代表者名 取締役社長 浜本 康男
(コード番号 5352 東証1、福証)
問合せ先 取締役常務執行役員
総務人事部長 石丸 誠
(TEL. 093-622-7224)

黒崎播磨グループ 2013 年度中期経営計画について

当社では、この度、2014 年度までを実行期間とする「2013 年度中期経営計画」を策定しましたので、お知らせ致します。

- 黒崎播磨グループは、第9次中期経営計画において、設備投資効果の最大発揮等によるコストダウン、国内外においてM&A含めた事業の再編・見直しを積極的に推進し、海外含めた事業基盤強化の面で大きな成果を上げて参りました。
- 当社主要顧客である鉄鋼業界を取り巻く環境は、アジアを中心とした大幅な需給ギャップ、新興ミルによる技術キャッチアップ等から競争が更に熾烈化し、国内鉄鋼各社からの耐火物に対する値下げ要求は非常に厳しいものになると想定せざるを得ません。一方、海外においても、北米・欧州での鉄鋼生産量の低迷継続、新興国での経済減速、大幅な需給ギャップによる価格競争の激化等、今後、当社グループを取り巻く事業環境は、国内外共に更に厳しさを増すものと思われます。
- こうした環境下、圧倒的なコスト競争力確保のため、「国内製造拠点を中心とした構造的な対策の検討・実施によるコスト競争力の建て直し」と「迅速な海外展開強化による利益成長」を目指す「サバイバルと成長」を推し進めます。

2013 年度中期経営計画の概要

- ①耐火物総合力発揮による顧客満足度の最大化
 - ・顧客とともに、製鉄プロセスの安定操業、品質・コスト競争力向上を図るために、耐火物材料・設計・工事・施工・補修機器の技術を結集し世界一の耐火物ソリューションを提供する耐火物総合メーカーに成長。
- ②生産性の向上による総費用の削減と経営資源の効率的活用
 - ・生産ラインでの次世代プロセス導入、組織・業務改革による10%以上の生産性向上。
 - ・生産性向上を梃子に新規プロジェクトへのマンパワー投入を推進。
- ③グローバル展開の拡大、成長・ビジネスチャンスの創出
 - ・中国、インド、欧州、北米の地域別運営体制強化と地域間連携による海外マーケット拡販。
 - ・インドでは、TRL-Krosaki（インドの当社51%出資子会社）でのSN・マッド*生産体制増強、当社との技術連携強化、営業体制の一体化等を梃子に新規製鉄所向け含めた拡販を強力に推進。
- ④耐火物原料の安定調達強化
 - ・TRL-Krosaki との連携強化により、インド原料の最大活用を推進。
 - ・パートナー原料メーカーとの連携強化及び配合見直しによる調達不安原料の使用見直し推進。
- ⑤耐火物以外の事業は成長領域・シナジー期待領域への展開強化
 - ・当社の完全子会社である有明マテリアルとも連携し、省エネ、CO₂削減と生産性向上に寄与するセラミックス事業製品（ファインセラミックス、断熱材等）の拡販推進（鉄鋼、燃料電池、有機EL分野等）
 - ・築炉、断熱材料技術を総合的に組み合わせ、省エネ工業炉分野での拡販推進。
- ⑥内部統制活動の全社的強化
 - ・企業存立の基盤としての内部統制活動について、再構築を継続推進。

*S N：主に鉄鋼生産における取鍋・連続铸造設備での溶鋼流量制御に使用する耐火物

*マッド：高炉の出銑口の閉塞用に使用する粘土状の耐火物

以上の施策を推進することにより、連結ROS：5%程度、連結D/E：0.7程度を目指します。

以 上